

福祉行財政と福祉計画

問題 42 次のうち、法律で規定されている福祉計画の記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 市町村障害者計画は、市町村が各年度における指定障害福祉サービスの種類ごとの必要な量の見込みについて定める計画である。
- 2 都道府県子ども・若者計画は、都道府県が子どもの貧困対策について定める計画である。
- 3 都道府県老人福祉計画は、都道府県が介護保険事業に係る保険給付の円滑な実施の支援について定める計画である。
- 4 市町村地域福祉計画は、市町村が地域福祉の推進について市町村社会福祉協議会の地域福祉活動計画と一体的に定める計画である。
- 5 市町村子ども・子育て支援事業計画は、市町村が教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保について定める計画である。

問題 43 次のうち、入所の仕組みを利用契約制度と措置制度に分けた場合、措置制度に分類されている施設として、適切なものを2つ選びなさい。

- 1 軽費老人ホーム
- 2 老人短期入所施設
- 3 障害者支援施設
- 4 児童養護施設
- 5 救護施設

問題 44 地方公共団体の事務に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 地方公共団体の事務は、自治事務、法定受託事務、団体委任事務、機関委任事務の4つに分類される。
- 2 児童扶養手当の給付事務は、自治事務である。
- 3 社会福祉法人の認可事務は、法定受託事務である。
- 4 生活保護の決定事務は、団体委任事務である。
- 5 児童福祉施設の監査事務は、機関委任事務である。

問題 45 「令和5年版地方財政白書(令和3年度決算)」(総務省)に示された民生費に関する次の記述のうち、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 歳出純計決算額は、前年度に比べて減少した。
- 2 目的別歳出の割合は、都道府県では社会福祉費よりも災害救助費の方が高い。
- 3 目的別歳出の割合は、市町村では児童福祉費よりも老人福祉費の方が高い。
- 4 性質別歳出の割合は、都道府県では繰出金よりも人件費の方が高い。
- 5 性質別歳出の割合は、市町村では補助費等よりも扶助費の方が高い。

問題 46 社会福祉に係る法定の機関に関する次の記述のうち、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 都道府県は、児童相談所を設置しなければならない。
- 2 都道府県は、発達障害者支援センターを設置しなければならない。
- 3 市町村は、保健所を設置しなければならない。
- 4 市町村は、地方社会福祉審議会を設置しなければならない。
- 5 市町村は、身体障害者更生相談所を設置しなければならない。

問題 47 次のうち、現行法上、計画期間が3年を1期とすると規定されている計画として、正しいものを1つ選びなさい。

- 1 市町村こども計画
- 2 市町村介護保険事業計画
- 3 市町村障害者計画
- 4 市町村健康増進計画
- 5 市町村地域福祉計画

問題 48 次のうち、福祉計画を策定する際に用いられるパブリックコメントに関する記述として、最も適切なものを1つ選びなさい。

- 1 行政機関が計画の素案を公表して広く意見や情報を募集する機会を設けることにより、人々の意見を計画に反映させる。
- 2 特定のニーズに対応するサービスの種類と必要量を客観的に算出することにより、サービスの整備目標を算出する。
- 3 専門家等に対して同じ内容のアンケート調査を繰り返し実施することにより、意見を集約していく。
- 4 団体のメンバーが互いの知恵や発想を自由に出し合うことにより、独創的なアイデアを生み出す。
- 5 意見やアイデアを記したカードをグループ化していくことにより、様々な情報を分類・整理していく。